

市民活動だより

平成 29 年 9 月 30 日発行 第 3 号

【発行】小浜市ボランティア・市民活動交流センター（中央公民館内）
電話/FAX 52-7837/53-1336 メール volunt-sien@city.obama.fukui.jp

☆新しくボランティアセンターに登録された団体を紹介します☆

小浜市国際交流協会
代表・・・青池 浩生

国際交流

童謡をうたう会 赤いくつ
代表・・・富士 くみ子



マリンカの会
代表・・・村山 典子

文化・芸術・スポーツ

若狭日本語の会
代表・・・内堀 妙子

社会教育

おもちゃ病院「鯖の道」
代表・・・古谷 芳夫

地域安全

福井県BBS連盟 若狭地区会
代表・・・池原 湧暉

みなさん
よろしくお願いします。

環境美化デーについて

小浜市では、環境基本計画に基づき『海、山、河 誇りの持てる豊かな自然 住み心地の良いまち おばま』の実現に向けて取組みを進めています。

9月2日(土)に行われました「若狭おばま環境美化デー」では、お忙しいところ多数の方々にご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

ごみのないきれいなまちづくりを推進するため、今後ともよろしくお願いいたします。



小浜市 郷土研究会

小浜市を中心とし、県内外における・考古・地理・民俗および自然に関する研究と懇談を通じ、郷土文化への関心を深める。これらの目的を達成するために、郷土に関する各種資料の調査研究・研究発表会・講演会・講習会ならびに展覧会の開催・郷土誌・研究報告物の刊行。福井県郷土史懇話会ならびに各種郷土研究団体との連絡提携・その他、必要とされる事業を行うことが会則にある。

現在は、会長のもと各委員会が形成され、53名の会員によって構成されている。

*

発足当初は、行政からの大きな支援もあり100名以上の会員を擁していたが、現在は約半分になり多少淋しい気がする。

そんな日から60年以上の歴史を刻み、その間会則にある書物の発刊は20冊を超える。

今、当会を率いる役員、また会員が高齢化している中、みんなで知恵を出し合い、新しい人たちへの会員啓蒙に繋がるよう懸命に活動に励んでいる。

諸先輩がはぐくんでくださった当会の長い歴史に感謝し、若い世代に継承していくことの難しさを痛感している。

*

今年度、市の「いいとこ小浜づくり協働推進事業」に採択された「詩歌で綴る小浜讃歌」の発刊作業のため、今日も猛暑の中、ボランティアセンターへ出向く。そんな仕事ができることへの感謝は尽きない。

発刊された「詩歌で綴る小浜讃歌」は、市内の各小・中・高等学校や各公民館へ寄贈することとしている。この著書を通して、市民の方々のふるさとを愛する心が広がることを願っている。

お知らせ

～10月以降の主な行事、イベントのお知らせ～

- やさしさいっぱい！まちなか夢通り
10月15日(日)、10時～16時、まちの駅
- おばま児童文学会「風夢」のおはなし会
10月28日(土)、11時～、小浜市立図書館 5階
- REINAN 国際交流のつどい2017
10月29日(日)、10時～15時、小浜市民体育館
- 2017秋の一緒に登りませんか
11月3日(祝)、8時30分までにJR今庄駅集合
鍋倉山(516m)～藤倉山(644m)の登山、参加費500円



【Fフォーラム】4月25日 護身術体験講座
相手をひるませて、助けを求めたり逃げたりして、難を逃れるための護身術を学びました。



【若狭西地区更生保護女性会】4月13日 観察官の講演
犯罪や非行をした人が保護観察となって、社会復帰するまでの流れを、ユーモアも交えながら勉強しました。



【NPO 法人 WAC おばま】7月29日 親子化石教室
高浜町音海の千畳敷で化石を採取し、石を割って化石を取り出して標本を作りました。



【小浜山の会】5月21日 春と一緒に登りませんか
滋賀県長浜市の登山口から、約4時間かけて伊吹山山頂まで登りました。

市民活動団体の活動を紹介します



【おどりボランティアなでしこ】7月2日 セタのつどい
小浜近隣に在住されている外国人と日本人の交流の場で、七福神の紹介や踊りをしました。



【若狭の語り部】7月2日 まち歩きガイド
観光客に、三丁町の通り、庚申堂、蓬嶋楼などを案内しました。



【おばま児童文学会 風夢】7月30日 おはなしとハーブ
坂井市在住のハーピスト渡辺千晶氏をお迎えし、ハーブの音色とともにおはなし会を実施しました。



【おもちゃ病院「鯖の道」】7月26日 おもちゃ修理
受付に持ち込まれた壊れたおもちゃの状況を確認し、ドライバーやはんだで修理に当たりました。